

新刊

読んだら思わず

誰かに話したくなる!

訓練指導時や各種イベントの際に使える
興味をもってもらえるスピーチのネタと
話し方のヒントを計**60**項目掲載!

すぐに
使える!

— 訓練しなけりやカラスも飛べない —
消防・防災講話の

夕ネ



池田和生 著

【略歴】昭和51年東京消防庁へ入庁し、臨港消防署長を最後に退職。現在は（公財）東京防災救急協会の消防設備士講習の講師をはじめ、さまざまな所で講話を行っている。

●B6判 ●272頁 ●定価（本体1,500円+税）
ISBN978-4-8090-2456-6 C2080 ¥1500E

本書の特長

- ◆地域住民や防火管理者などに対して行う消防・防災講話の具体例を「訓練」「火災予防」「地震」「災害」「事故」の五つのテーマに分類して掲載。
- ◆「話のコツ」のコーナーでは、相手に伝わりやすい話し方を身に付けられます。
- ◆防火管理者・防災士・学校の教員の方にもオススメ。

詳細は
こちら!



目次 (抜粋)

講話の作り方

第1章 訓練

- 1 カラスも訓練なしではうまく飛べない
- 2 「非常口」は、なぜ使われないのか
- 6 「分かっている」から「できる」へ

第2章 火災予防

- 2 「天ぶら油火災」を引き起こす罖
- 7 片付け上手は火災を起こさない
- 11 スプリンクラーは万能選手?

第3章 地震

- 2 近所付き合いがモノをいう
- 4 「帰宅困難者問題」は何が問題なのか

- 7 緊急地震速報
—その10秒が命を救う—

第4章 災害

- 1 災害時には空気を読むな
- 5 ポスザルの指示
- 15 女性の方がリスクに敏感

第5章 事故

- 5 暑さを甘く見てはいけません
- 8 風呂場のアクシデント
- 11 子どもの火遊び



話のコツ (抜粋)

- いきなり訓練に入ってはいけない
- 質問は、「指す」のではなく、「参加」してもらう
- 口元に笑みを
- 三つのポイント ~「三」という数字の持つ魔力~
- 言いたいことを全部は言わない

東京法令出版

講話の要点がつかみやすい！
内容をまとめた「ポイント」付き

内容見本

過去に起きた大きな災害や事故における
の分かれ目を検証すると、助
多くは、何らかの経験を積
似たような事故に遭遇し

ことも、食えることや排泄さえも。それも繰り返し、繰り返し何年もかかって
やっど。
その半面、訓練により体で覚えたものは頭で覚えた知識に比べて、一旦身に付
くと簡単には忘れないという特徴があります。泳げる人は10年間泳がなくても
ちゃんと泳げます。自転車に乗れる人
は10年間乗ったことがなくても乗れる
のです。そのように体で覚えたもの
が、いざというときに役に立つので
す。
過去に起きた大きな災害や事故にお
ける分かれ目を検証すると、助
多くは、何らかの経験を積
似たような事故に遭遇し



1 カラスも訓練なしでは
うまく飛べない



ポイント

- 一般に、高度な生き物ほど訓練が必要
- 訓練を積むと、災害時にすばやく対応できる

皆さん、「そもそもなん
ないの？」と思っ
小鳥は巣立ちのときを
飛び立つことができま
敵に襲われてしま
小鳥より大きく強
でもバタバタと飛
ん。親が飛ぶのを見
自由に飛び回れるよ
な生き物ほど訓練が
とりわけ人間は、生
きません。日常生活
ようになるのです。言葉

明日から誰でも実践できる！
目からウロコの「話のコツ」

215 1 全ての事



話のコツ

語尾にバリエーションを

文章を読むときに同じ語尾の文章が続いていると、読みづら
いものです。

例えば「……です」「……です」「……です」と同じ語
尾の文章が3度も繰り返されると、何だか単調で引き込まれま
せんよね。

そのつもりでチェックしてみると、本でも新聞記事でも読み
やすい文章は、必ず語尾が一边倒ではありません。

話し言葉の場合も同じことです。

「……です」の次は「……ですよ」とか「……だと思
いませんか」というように変化を付けると聞きやすくなりま
すし、聞いていて退屈しません。同じことを話していても説得
力が違ってくるのです。

講話の作り方

- 1 テーマ（何を伝えたいのか）を決める
- 2 「枕」を考える
- 3 合間に挟むエピソードを決める
- 4 原稿を書く



本書中では、この各ステップについて
詳しく解説しています！

最新情報はこちらから！

東京法令

検索



東京法令出版公式Twitterアカウント

@tokyo_horei



申込書

すぐに使える！消防・防災講話のタネ
—訓練しなげやカラスも飛べない—
定価(本体1,500円+税) 【コード13190】

申込

部

(送料は実費、2部以上はサービス)

貴社の個人情報に関する下記取扱いに同意し、上記のとおり申し込みます。 平成 年 月 日

お取扱者(自署) (TEL - -)

〒
お届け先住所

団体名 部署名 公用 私用

個人情報の取扱いについて 東京法令出版株式会社 個人情報保護管理者 専務取締役
★お客様の個人情報は、契約の履行及び関連製品の案内に利用します。
★本人の同意がある場合は法令に基づく場合を除き、第三者に提供しません。
★利用目的の達成に必要な範囲内で取扱いの一部を委託することがあります。
★本人からの個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加又は削除・利用の停止・消去の求めに応じます。
★個人情報に関するご照会・お問い合わせ等は、弊社窓口(TEL026-224-5441、privacy@tokyo-horei.co.jp)までご連絡ください。
★個人情報の提供は任意ですが、提供いただけない場合は、お申込みをお受けできないことがあります。

この申込書は、このままFAXで下記宛にお送りください。

■申込先

東京法令出版 受注センター
〒381-0022 長野市大豆島3111

FAX 0120-338-923
TEL 0120-338-272

(携帯電話からもお申込みできます。)

| | | | | |
|-------|--------|-----|------------------------------|------------------------------|
| 会社使用欄 | 団体コード | | <input type="checkbox"/> 納品済 | 入力印 チェック |
| | 得意先コード | | <input type="checkbox"/> 請求済 | |
| | 在庫 | ラベル | 〒 | <input type="checkbox"/> 領収済 |